

2

プロテクトの認証方法（USB [SNS-LAN-X]）

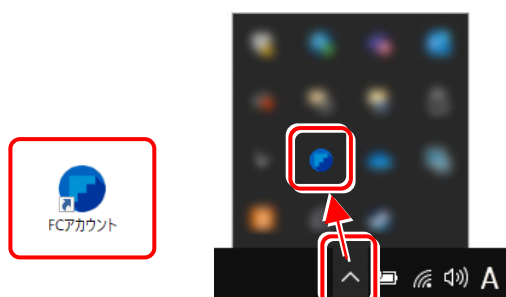
新パソコンにインストールしたFCアカウントを利用して、USBタイプ（SNS-LAN-X）のライセンス認証をおこないます。

Step1 | プロテクトドライバのインストール

※この作業はサーバーパソコンで必要な作業です。ライセンス認証するパソコンがクライアントパソコンの場合は、この作業は不要です。クライアントパソコンの場合は「Step3 プロテクトの認証」に進んでください。

※サーバーパソコンにFCアカウントがインストールされていない場合は、クライアントパソコンで更新ファイルをダウンロードしてください。

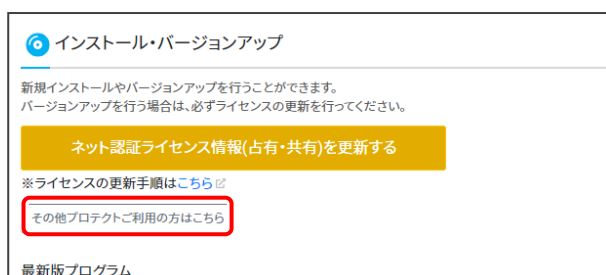
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



2. 「インストール・バージョンアップ」をクリックします。



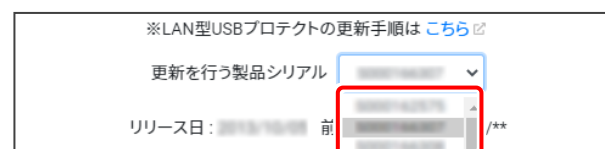
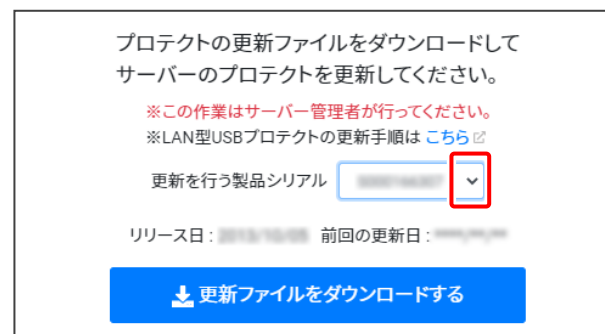
3. 「[その他プロテクトをご利用の方はこちら]」をクリックします。



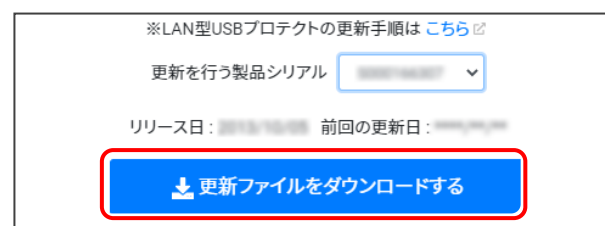
4. 「LAN型 USBタイプのプロテクトをご利用のお客様」をクリックします。



5. ライセンスの認証をおこなうUSBプロテクトの「製品シリアルNo.」を、リストから選択します。

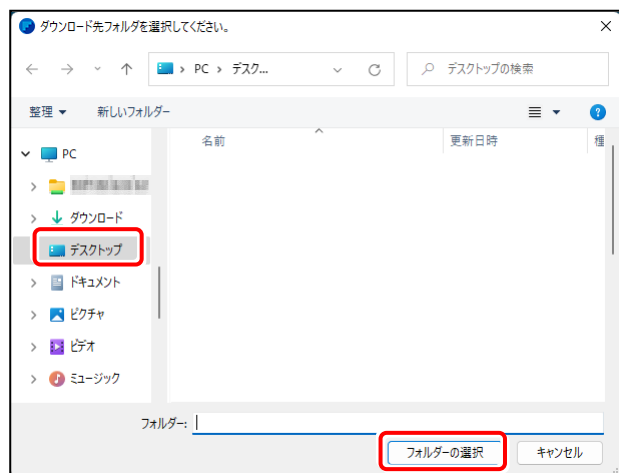


6. 「更新ファイルをダウンロードする」をクリックします。

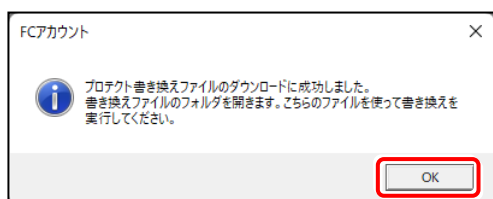
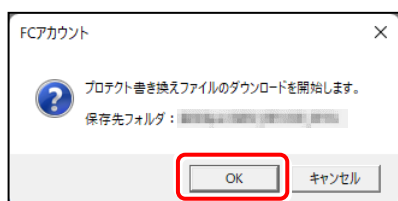


（次ページへ続く）

7. 更新ファイルの保存先（デスクトップなど）を指定して、
「フォルダーの選択」をクリックします。



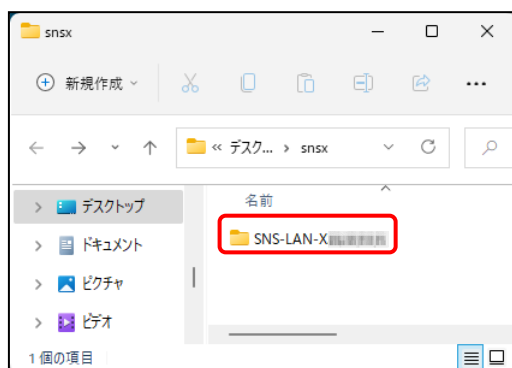
8. 「OK」をクリックすると、ダウンロードが始まります。



9. ダウンロードが完了すると、エクスプローラーが開かれ、ダウンロード先に "snsx" フォルダが作成されます。

フォルダー内の「更新ファイル」を、エクスプローラーなどを利用して、DVDやUSBメモリに書き込んでサーバーへ移動してください。

（サーバーでダウンロードした場合は、そのまま実行できますのでDVDやUSBメモリに書き込む必要はありません。）



9. 弊社商品のプロテクトに限らず、サーバーにUSBプロテクトが装着されている場合は、全て外します。

※ 重要！！

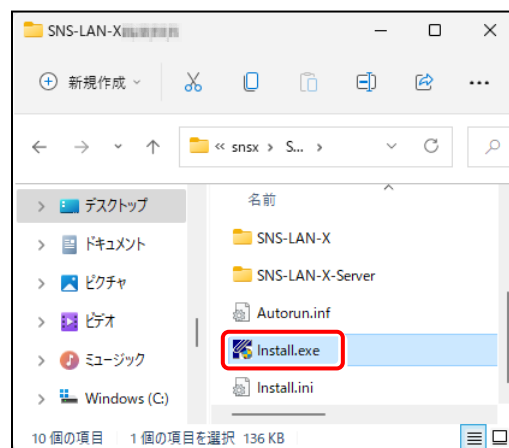
USBプロテクトは、
まだサーバーに
装着しないでください。



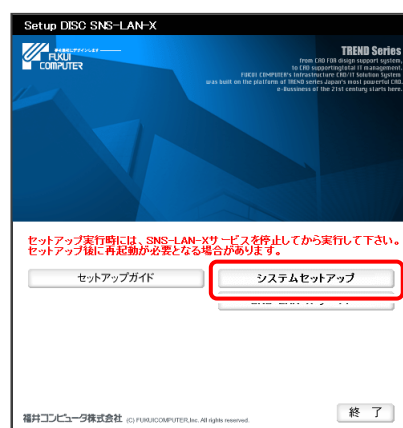
10. ダウンロードした「更新用ファイル」内の
“ SNS-LAN- X ***** ”フォルダー内にある
“ Install.exe ”を、サーバー上で実行します。



「サーバー」



11. Setup画面より、「システムセットアップ」をクリックします。



（次ページへ続く）

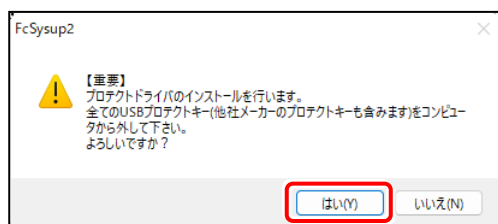
12. USBプロテクトの画像ボタンをクリックします。



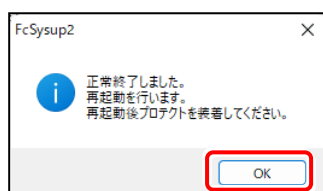
13. 「SNS-LAN-X」をクリックします。



14. サーバーにUSBプロテクトが装着されていないことを確認したら、[はい] をクリックします。

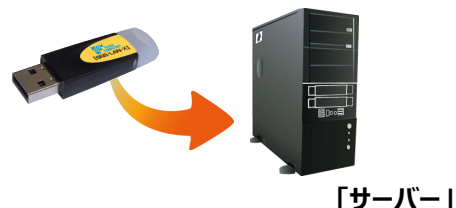


15. インストールが終了したら再起動を促すメッセージが表示されます。[OK] をクリックしてサーバーを再起動します。



16. サーバーにUSBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着します。

自動的にデバイスドライバソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

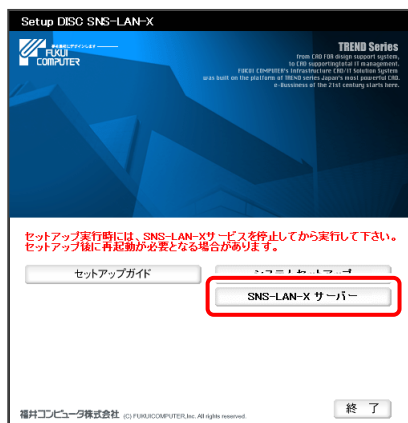


(次ページ「Step2」へ進みます)

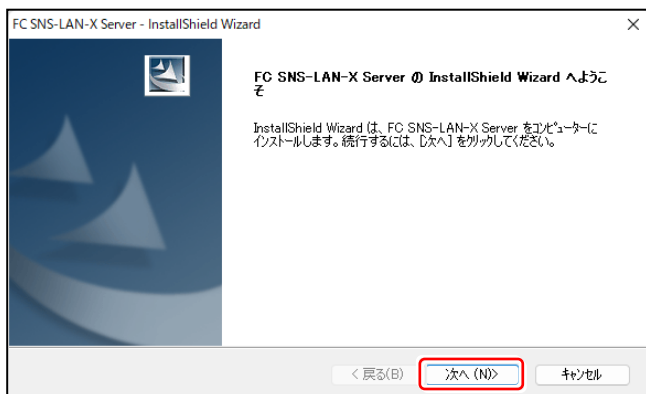
Step2 | SNS-LAN-Xサーバーのインストール

サーバーにライセンス管理ツール（SNS-LAN-X サーバー）をインストールします。

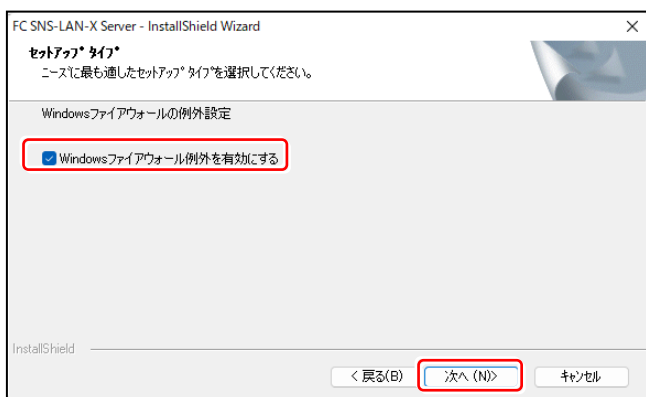
1. Setup画面より [SNS-LAN-X サーバー] をクリックします。



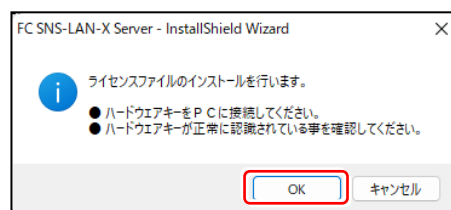
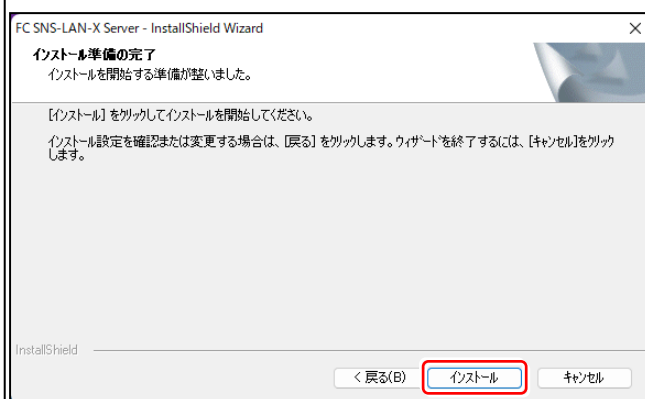
2. [次へ] をクリックします。



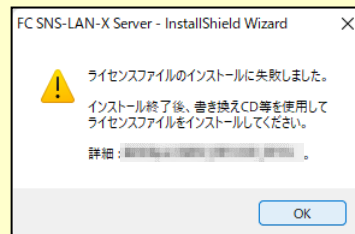
3. [Windowsファイアウォール例外を有効にする] をONにして、[次へ] をクリックします。



4. 表示される画面に従って、インストールを開始します。



※下記画面が表示された場合は、プロテクトが正常に認識されているか確認してください。



(次ページへ続く)

5. [完了] をクリックします。



(次ページ「**Step3**」へ進みます)

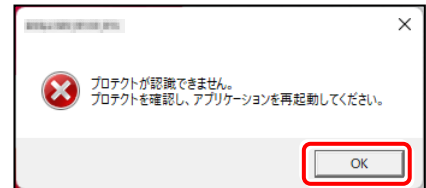
Step3 | プロテクトの認証

インストール済みのプログラムからUSBプロテクトのモード（USBローカル、LAN、USBローカル+LAN）を指定します。

1. デスクトップ上で起動したいプログラムをダブルクリックして起動します。

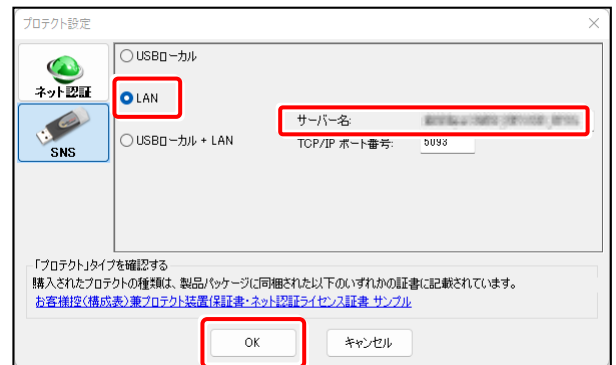


2. プロテクトの確認メッセージが表示されるため、
[OK] を押して、ライセンスの認証をおこないます。



3. [プロテクト設定] 画面が表示されるため
[SNS] の [LAN] を選択して、
[サーバー名] に[SNS-LAN-X]を装着したサーバーの
パソコン名を入力します。

入力を終わったら、[OK] をクリックします。



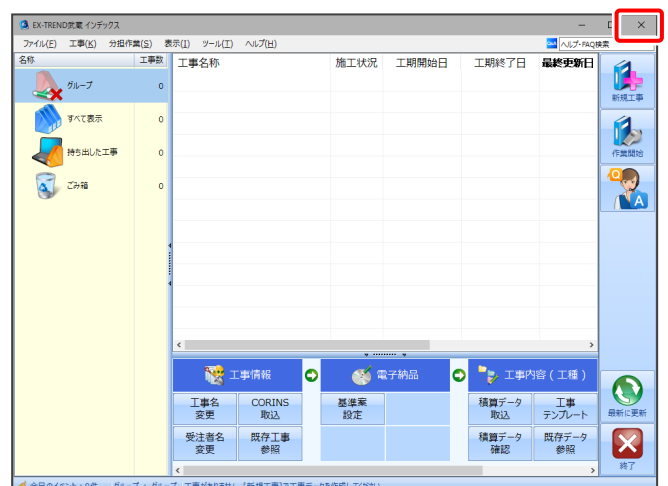
※サーバーパソコン名が不明な場合は、
既に USB プロテクト（SNS-LAN）で起動できている
他のクライアントパソコンの「プロテクト設定」でサーバー名
を確認するか、サーバー管理者にご確認ください。

※「プロテクト設定」の確認方法は
「**【補足】USB ローカル+LAN モードを使用する場合**」の「**③**」以降の手順を参照してください。

4. USBプロテクト（SNS-LAN）でプログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、
プログラムを終了します。

以上で「ライセンスの認証」は完了です。



【補足】 USBローカル+LANモードを使用する場合

「USBプロテクト（SNS-W）」と「USBプロテクト（SNS-LAN-X）」は併用ができます。
プログラムのインストール時には「SNS」を選択してください。

ここでは、「TREND-ONE」を「USBプロテクト（SNS-W）」を装着してインストールした後で、
「USBプロテクト（SNS-LAN）」モードを同時に認証する設定方法を解説します。

① 弊社WEBサイト「お客様サポート」の【USBプロテクト（SNS-W）】

（https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/extra/common/mnl/manual/newSetupP_U.pdf）の手順通りに
USBプロテクト（SNS-W）を装着してプログラムをインストールします。

② 【USBプロテクト（SNS-LAN-X）】の「Step1 | プロテクトドライバのインストール」と「Step2 | SNS-LAN-Xサーバーのインストール」を実行し、SNS-LAN-Xを装着します。

（※クライアントパソコンの場合はこの作業は不要なので、③へ進んでください。）

③ デスクトップの起動したいプログラムのアイコンをダブルクリックして起動します。

ここでは「TREND-ONE現場管理」、
もしくは「TREND-ONE プログラム」をダブルクリックして起動します。



④ 画面右上の「？」マークをクリックして、 「バージョン情報」をクリックします。

他のプログラムの【バージョン情報】について

プログラムによって【バージョン情報】の開き方が異なります。

詳細は、弊社WEBサイト「お客様サポート」の
「各プロテクトタイプの確認方法」

（https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/extra/common/mnl/manual/s11_protect_kakunin.pdf）をご確認ください。



- 5 右下の「ターゲット変更」をクリックします。

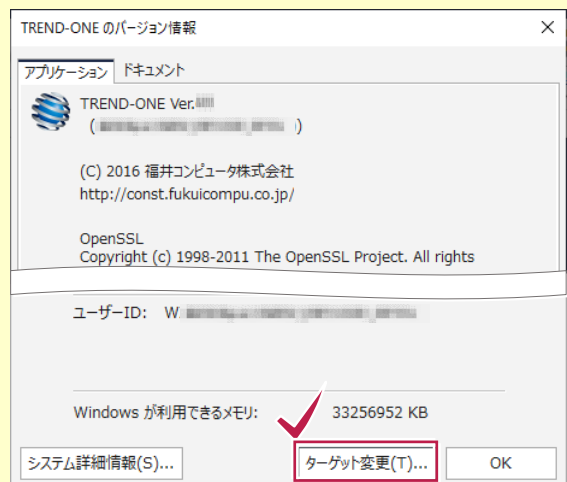
他のプログラムの「ターゲット変更」について

プログラムによって「ターゲット変更」が「プロテクト設定」と表記されています。

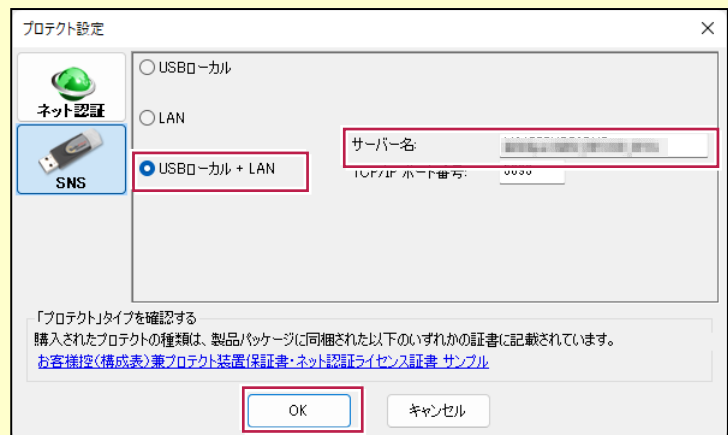
「ターゲット変更」：EX-TREND 武蔵、Mercury-ONE、TREND-FIELD

「プロテクト設定」：TREND-POINT、TREND-CORE、Mercury-LAVIS

「プロテクトの設定」：TREND REX

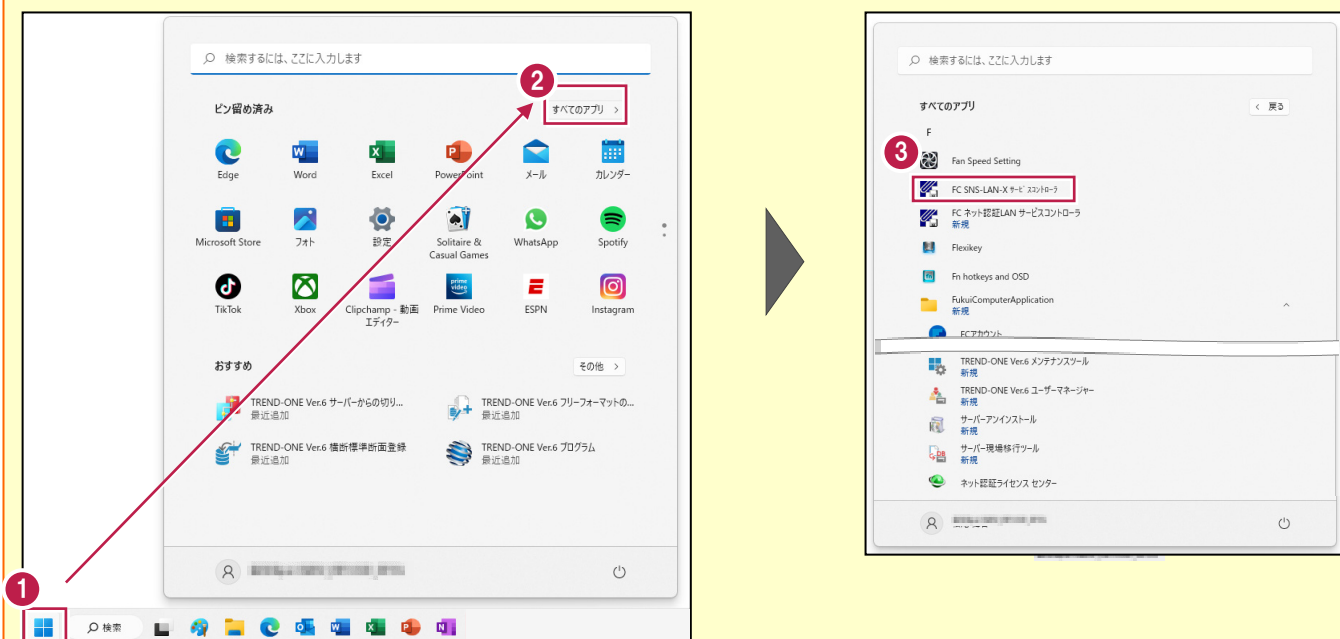


- 6 「プロテクト設定」画面が表示されるため「SNS」の「USBローカル+LAN」を選択して「サーバー名」に【SNS-LAN-X】を装着したサーバーパソコン名を入力します。入力を終わったら、「OK」をクリックします。

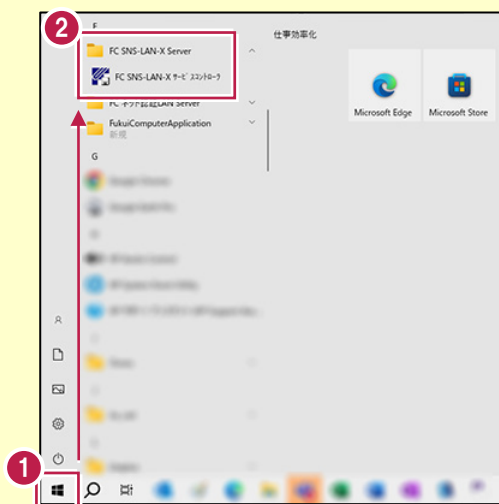


【補足】 スタートメニューから【FC SNS-LAN-X サービスコントローラ】を確認する手順

● Windows11の場合



● Windows10の場合



【補足】 SNS-LAN-Xサーバーの機能

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」では、
「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows11 の場合： Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows10 の場合： Windowsのスタートメニュー

から、[FC SNS-LAN-X Server] – [FC SNS-LAN-Xサービスコントロール] を実行してください。

The screenshot shows the 'FC SNS-LAN-X サービスコントロール' window. It features a 'サーバ' (Server) dropdown, a 'ユーザID' (User ID) field, and a table with columns for 'ライセンス数' (License Count) and '空きライセンス数' (Available License Count). On the right, there are buttons for '開始(S)' (Start), '停止(I)' (Stop), '更新(P)' (Update), '接続ユーザ(U)' (Connect User), and 'オプション(O)...' (Options). Callouts point to these elements with descriptive text.

【サーバ】
SNS-LAN-Xプロテクトが装着されているパソコン名が表示されます。

【ユーザID】
SNS-LAN-XプロテクトのユーザIDが表示されます。

【ライセンス数】
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

【空きライセンス数】
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

【開始】 ボタン
サービスを開始します。
SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

【停止】 ボタン
サービスを停止します。

【更新】 ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

【接続ユーザー】 ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

【オプション】 ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

【接続】 タブ
接続で使用するポート番号を設定します。

【使用状況ログ】
使用されたアプリケーションの記録を定期的

- **【ポート番号】** の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- **【使用状況ログ】** には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. **【ログの出力】** チェックボックスをオンにし、**【パス】** にログファイルの出力先を設定。（**【間隔】** と **【最大履歴数】** は適宜に設定）
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を**併用**した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。